

2019 年 8 月 キューバ医療事情

下記情報は当地報道を抄訳したものです。詳しくは原文をご参照下さい。

【キューバ医療事情】

8 月 1 日 【Juventud Rebelde】

“ビジャクララ・クララ県の家庭に多くの医師”

9 月からビジャ・クララ県の家庭医診療所にビジャ・クララ医科大学を最近卒業した約 500 人の医師が働き始めるため、県は活気付く。

8 月 2 日 【Diario de Cuba】

“2018 年医療サービスでキューバ政府は 64 億ドルを得た”

キューバ政府は、キューバが受け取る最大の外貨収入はサービスの輸出であると公表。国家統計情報局が 8 月 2 日に発表した報告書によるとキューバ政府は 2018 年医療サービスによって 64 億ドルの収入があり、続いて支援サービスで 13 億ドルの収入があった。ホテルと飲食提供サービスにより 9 億 7 千ドル、電気通信費用で 7 億 2 千 200 万ドル、輸送サービスで 6 億ドルの利益を得た。報告書には 2018 年の数値のみで、以前の数値は記載されていないかった。

キューバ経済の外国為替差益は、同盟国であるベネズエラの経済危機により近年減少しており、そのためキューバ政府は輸入を制限する緊急措置を取らざるを得なかった。輸出総額は 2013 年は 186 億ドルに達したが、昨年は 145 億ドルであった。輸入は 156 億ドルから 126 億ドルまで減少した。国内経済は停滞しており、2019 年アメリカの新たな経済制裁の対象となる 175 のキューバの企業や観光、投資の状況は悪化すると予想されている。キューバは 2016 年に対外債務が 182 億ドルと報告して以来報告は無い。

8 月 5 日 【CUBANET】

“マタンサス県で大量のアフリカマイマイを確認”

キューバ保健当局にとってはアフリカマイマイの繁殖は、悪夢となっている。今週カルデナス市ウンベルト・アルヴァレス町はアフリカマイマイで占拠された。植物検疫官はアフリカマイマイを駆除しようとしているが、急速に繁殖している。当局はこの町で大量のアフリカマイマイを確認している。2018 年に初めて確認されて以来、急速な繁殖で住民は不安を感じている。マタンサス県では他にペリコ市やウニオン・デ・レイエス市でもアフリカマイマイが確認されている。

8月6日【CUBADEBATE】

“200人以上のキューバ人医療専門家がジャマイカに到着”

ジャマイカの医療システムは、1976年以降キューバから医療分野で支援を受けており、今日ではジャマイカに200人以上の専門家が協力予定。最近、両国の保健省は1976年に14人で始められた任務に誰を派遣するのか選抜試験を行った。そして医師や看護師、技師、電気医療工学のエンジニアである259人がジャマイカでサービスを提供するために雇用された。ジャマイカとキューバの医療協力の歴史の中で2019年5月までに144万7015件の症例の診療実績がある。その中には26万1350件の小児科の症例、3万761件の外科手術症例、7万3331件のワクチン接種が含まれる。

8月7日【Granma】

“母乳育児、責任の共有”

世界母乳育児週間中に、キューバは2つの新たな母乳バンクを設立し、多くのプロモーション活動を行う。

8月1日から8月7日にかけて行われる世界母乳育児週間の活動の一環として、ビジャ・クララ県とマタンサス県に新たな2つの母乳バンクが開設される。母乳を与えてくれる母親のサポートが不可欠であるが、この2つのバンクは既に国内で開設されている10の母乳バンクと共に、母親から母乳が得られない子供達の健康を保証するために母乳を寄与する。

8月8日【CUBADEBATE】

“ポリコサノール (PPG)：キューバの薬が日本で生産”

虚血性脳血管疾患の治療目的としたキューバの自然医薬ポリコサノール (PPG) が日本で生産される。9月からはインターネットで購入可能となる。

キューバのポリコサノールはPPGとして知られ、7月19日に日本で登録された。

サトウキビのワックスから作られたこの薬は、悪玉コレステロールを低下させ、抗凝固作用と抗酸化作用を併せ持つ。血管疾患の治療に優れた選択肢となる。加えて、高血圧や糖尿病のように増加している慢性非感染性疾患をもつ高齢者の生活の質を改善させるサプリメントである。キューバで登録されて25年以上が経ち、世界中の30ヶ国以上の市場で販売され、1996年には世界知的所有権機関から金賞を受賞した。

8月13日【CUBANET】

“ガーナ政府はキューバで医師養成に3700万ドル以上を費やした”

ガーナの医療システムに250人の新たな医師を認証する式典で、保健大臣はガーナの人的資源を増やすための投資を継続すると述べた。1人当たり平均して15万ドルの費用がかかり、250人全体で3750万ドルがかかったことになる。キューバ政府への支払いには、学費、食費、宿泊費、7年間滞在するための毎月の奨学金が含まれている。前大統領政権下でガー

ナ全県から 200 人以上の人材が医師養成のためキューバに派遣された。現在、新たな医師達はガーナ医学歯学審議会の試験を受け、ガーナ医療サービスに配属される。医療分野でのガーナとキューバの協力関係は長年続いている。

8 月 13 日 【CIBERCUBA】

“キューバはデング熱やジカ、その他のウイルス疾患の国際的なコースを主催”

8 月 23 日までハバナにあるペドロ・クリ熱帯医学研究所に 50 ヶ国以上の国から専門家が集い、アルボウイルスによる疾患に対する最新の知見を発表する国際的な会合が開催される。これらの新しい技術の中でボルバキアの使用が注目を浴びている。また放射線照射による不妊蚊を大量に解き放ち、蚊の駆除を行うことも述べられた。

キューバにはデング熱は持続的に存在しており、いくつかの県では流行している。

8 月 15 日 【CUBADEBATE】

“ウルグアイ：キューバの支援により多くの患者の視力が回復”

ホセ・マルティ眼科病院は 9 月までに 9 万件以上の手術（そのうち白内障が 6 万件）を行った。ウルグアイのこの施設は 2007 年に「奇跡の手術」の白内障手術センターとして誕生した。キューバとウルグアイの専門医は 70 万人の患者をこの病院で診察し、視力健康プログラムを通じて子供達 1 万 5 千人の診療を行った。

8 月 16 日 【el Nuevo Herald】

“キューバの海岸で子供 3 人を含む 5 人が落雷にて死亡”

8 月 15 日午後、キューバ人成人 2 人、子供 3 人がキューバ西部のマジャベケ県サンタクル・デル・ノルテのラ・プンティージャ海岸の松の木の下で倒れているところを発見された。彼らは嵐が始まり松の木の下に避難していたと思われ、そこに雷が落ちたと警察当局は述べた。また別の未成年者 1 人も負傷し、病院で治療中。

8 月 16 日 【CUBANET】

“FARC 元ゲリラ 200 人のコロンビア人が医学を学ぶためにキューバに赴く”

キューバのラテンアメリカ医科大学（ELAM）で医学を学ぶための奨学金プログラムの一環として、活動を停止した FARC の元メンバーを含む 200 人のコロンビア人がキューバに赴いた。この奨学金を得た人の中にはコロンビアの内戦の犠牲者、軍の親族、農村出身者も含まれる。コロンビアを出発前に在コロンビア・キューバ大使は、この奨学金は「フィデル・カストロの夢」により実現可能となったと述べた。キューバ政府より 5 年間に亘り、毎年元 FARC メンバー 100 人、コロンビア政府に 100 人分の奨学金が供与される。

8 月 21 日 【CUBADEBATE】

“世界中でキューバ人医師は 18 億 5500 万人の患者を支援”

キューバと世界中の 56 年に亘る医療協力によりキューバ人医療専門家は 18 億 5500 万人以上の患者を治療した。またキューバが協力を提供する数十カ国において 3 億 4800 万件の外科的処置を行った。1963 年 5 月 21 日よりアルジェリアではキューバとの医療協力が開始された。以後、キューバは 40 万人の医療専門家が世界中のいたる所に派遣された。現在キューバの医療支援は 65 ヶ国に亘り、3 万人が派遣されている。